

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月20日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報科学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年8月20日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年5月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 5 月中旬～8 月中旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	44,549
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	6,847.14	1,039,998 円	
宿舍費	6,460	990,234 円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	85	12,840 円	mint mobile と契約
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	160	24,000 円	
医療費		円	
保険費		39,955 円	形態:
渡航旅費		152,635 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		500,000 円	遊び代
その他		円	
合計	13,552.14	2,759,662 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田国際空港 目的地: サンフランシスコ国際空港 経由地: 復路 出発地: サンフランシスコ国際空港 目的地: 成田国際空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ZIPAIR 料金: 77,550 復路 航空会社: ZIPAIR 料金: 75,085 ∴ 合計: 152,635
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: tripcom) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
先輩たちの留学報告書を読んで International House を選んでる人が多く評判も良かったので決めました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
様々な国、文化を持つ人たちと出会うことができ、毎日のように新しい友達ができていく感覚でした。友達作りにおいてこれ以上の場所はないと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ルームメイトがすでにバークレーに一年間住んでいたため、彼との話を通して情報を収集しました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットの接続に関して特に困ったことはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

5万円ほど現金を持っていきましたが基本的にはクレジットカード決済を利用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ボディソープやシャンプーなどは肌質にあう日本製のものを持っていくほうがいいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Leading people	
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	このコースでは主に教科書、スライド、ディスカッション等を通してリーダーシップについて多角的に学んでいくというものでした。授業は主に先生がスライドを用いて説明をしていく流れですが、時々動画や映画といった実例をもとに議論しました。
試験・課題等	試験は中間と期末の2回でどちらも選択マークシート方式で授業の復習をしていればそれほど苦戦することはないと思います。課題に関してはリーダーシップに関する英文を読み、クエスチョンに対して自分なりの意見を書いていくというものがありました。またプレゼンテーションがありそのための準備をする必要がありました。また RPP というアンケートに答えて研究に協力するといったものもありました。
感想を自由記入	この授業は先生が説明をしていくだけでなく実際に自分たちで議論をしたり、デモンストレーションをしてみたりなどかなり能動的にリーダーシップについて学ぶことができ、実生活で活かせることもたくさん学ぶことができたと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Data Science	
科目設置学部・研究科	DATA
履修期間	C
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 & 実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60 or 120分が5回
担当教授	Jeremy Sanchez
授業内容	授業は主に Python の基本的な使い方と統計学の基礎についてのものでした。また講義形式は授業、実習の2つがあり授業で先生が説明したことを実習で確認していくといったものでした。
試験・課題等	試験は中間と期末がありどちらも難しく、時間をかけてスライド、教科書、過去問等を用いて対策を行う必要があります。課題は週に2回提出する必要があり、それとは別にプロジェクトという少し重めの課題が2つ出されました。
感想を自由記入	全体的にかなり重たかった授業ではありましたがこの授業を通して統計学の基礎を一通り学ぶことができたので取ってよかったですと感じています。特に情報系の学部にも所属している学生におすすめの授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Science and Engineering English for Multilingual Students	
科目設置学部・研究科	COLWRIT
履修期間	D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	David McCormick
授業内容	授業内容は研究等に関するグループディスカッション、教授へのメール、プレゼンテーションといった事例を通して英語の能力を向上させていくといったものでした。
試験・課題等	この授業では試験はありませんでした。課題は毎授業出され、前の授業で出された課題を解き、それを次の授業で使うというものでした。
感想を自由記入	この授業は試験がなく勉強をするというよりも自分の英語力を課題を通して上げていくことにフォーカスしていたように感じました。理工学部の学生で将来海外の大学院への進学に興味がある学生にお勧めの授業です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	英語の勉強
	8月～9月	TOEIC 取得
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	パスポート取得、授業科目の決定、寮の決定、オリエンテーション参加
	4月～7月	ビザの取得、留学開始
	8月～9月	8月帰国、留学報告書作成
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

まず留学としてカリフォルニア大学バークレー校へのトップユニバーシティ留学を選んだ理由は情報科学科の学生としてUCバークレー校でのコンピューターサイエンスの授業を体験してみたいと思ったからです。実際体験してみてその授業がかなり重いことに気づき、ついていくので精一杯でしたがそれでも将来的に有用なスキルを得ることができたと考えています。また英語力に関しては留学先で特に英語を勉強することはなかったのですが、普段の生活の中で英語を聞いて、話していく中でかなり伸ばすことができたと感じています。英語を伸ばすためには普段から積極的に海外の人と話していくことが大事だと思います。

まず寮での生活についてですが基本的に部屋は広いとは言えず、ご飯もあまりおいしくはなかったですが、それでもInternational Houseに住むことができ本当に良かったと感じています。その理由は友達の作りやすさです。基本的に食事はDining Roomという大部屋で食べるのですがそこでたくさんの人と話ことができ、たくさんの人と友達になることができました。また私の場合はルームメイトがいたのですが3か月間で彼とは親友になることができたと感じています。ルームメイトありとなしを選ぶことができるのですがルームメイトと性格が合わなかったら部屋を変えることもできるので個人的にはありを選んでみるべきかなと思います。

この3か月間でロサンゼルスに行ったり、ラスベガスに行ったり、スカイダイビングをしたりなど行く前では想像すらできなかったことまですることができました。サンフランシスコもすぐそばにあり無料で行くことができるので様々な場所に行ってみることを進めます。それができないときは1度も自分から話し出すことができず終わってしまうことも珍しくありませんでした。